

次期推進基本計画をイメージしていくために

千葉県における障害児教育の課題
(H19 策定当時)

○障害のある乳幼児児童生徒一人一人のライフステージに応じた適切な支援と関係機関の支援ネットワークの仕組みをどう構築するか

○障害のある乳幼児に対する早期の教育相談支援体制、学齢期の教育相談支援体制の整備をどう図るか

○特殊学級の児童生徒や、通常の学級に在籍するLD等の児童生徒の教育的ニーズを踏まえた校内支援体制をどう整備する

○知的障害養護学校を中心とした児童生徒数の増加や長時間通学等の課題解決をどう図るか

○障害の重度・重複化、多様化の傾向を踏まえた特別支援学校の新たな整備をどう進めるか

○後期中等教育の充実や卒業後の就業・生活支援体制をどう整備するか

○教員の指導力、専門性の維持・向上、人材育成をどう進めるか

課題解決に向けて計画に位置付けた取組

1 早期の教育相談支援体制の整備

- (1) 乳幼児/保護者への相談支援体制の充実
- (2) 就学前幼児への個別の支援計画作成と就学支援

2 小・中学校における特別支援教育の整備・充実

- (1) 「わかる授業」の推進と学級における支援の充実
- (2) 適切な教育的支援のための校内体制による支援の充実
- (3) 学校を支える校外の支援システムの整備
- (4) 交流及び共同学習、地域で共に学び育つ教育を推進
- (5) 特別支援教室（仮称）構想に向けた具体的検討

3 今後の特別支援学校の新たな機能の構築

- (1) 特別支援学校の配置・整備と機能の充実。
- (2) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

4 後期中等教育の充実と卒業後の自立支援

- (1) 将来の自立と社会参加に向けた後期中等教育の充実
- (2) 個別移行支援計画に基づく就労支援ネットワークの充実
- (3) 高等学校における特別支援教育の支援体制づくり

5 卒業後の豊かな生活や生涯学習の支援

- (1) 障害のある人の学びの機会と場の充実
- (2) 特別支援学校の学校開放講座等の充実
- (3) 関係機関が連携した生涯学習支援ネットワークの構築

6 学校と教員の専門性の維持・向上

- (1) 学校、教員の専門性の維持・向上
- (2) 特別支援学校免許状保有率の一層の向上
- (3) 特別支援学校のセンター的機能充実のための教員配置
- (4) 異校種間の人事交流の推進
- (5) 理学療法士、作業療法士等の専門職の活用

これからの千葉県の特別支援教育を推進するためには・・・

■次期推進基本計画の理念

- ★いつでも★どこでも★だれでも…受けられる千葉県の特別支援教育
- インクルーシブ教育システム構築の考え方を反映
- 短期、中・長期を見通した実行性のある計画

これから必要な視点(例)

相談・支援の充実

基礎的環境整備の充実

障害者理解、共生社会の考え方を広げる教育の充実

一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程の充実

いつでも
全てのライフステージで…

社会自立・社会参加に向けた教育の充実

どこでも
全ての学校で…

多様な学びの場の充実

だれでも
障害のある子もいない子も…

人材育成と専門性の維持・向上

特別支援学校の環境と機能の充実

教職員の確保